様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 530405	公園維持管理事業	主管課名	みどり推進
この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		
	施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち	課長名	柘植　昭敏
	基本事業	公園・緑地の維持管理		

(1)事業の概要

公園緑地施設の適正な維持を行い、公園利用者の安全を確保する。
また、公園緑地内の樹木の適正な維持管理を行い、都市景観の向上及び緑豊かな自然環境の保全を図る。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市公園供用済面積	ha
②	遊具点検回数	回
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	①公園緑地の補植、②公園・緑地施設の緊急修繕、③公園緑地施設の遊具点検業務、④三好・保田ヶ池公園樹木管理業務、⑤小坂公園他14管理業務、⑥大沢公園他9維持管理業務委託、⑦三好丘地区公園緑地管理業務、⑧境川緑地管理業務、⑨緑地・緑道管理業務、⑩境川三好池花壇管理業務、⑪公園樹木管理業務、⑫三好公園池周辺管理業務、⑬ポケットパーク管理業務、⑭みどりのこみち管理委託 等を行った。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

都市公園、都市緑地

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市公園、都市緑地数	箇所
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

適正な維持管理を行い、安全な公園施設を公園利用者に提供する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	都市公園施設修繕件数	件
②	都市公園施設における事故件数	件
③	都市公園施設における苦情件数	件

(4)結果(上位基本事業の意図)

安全に利用できるよう公園緑地を管理する

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	公園緑地における維持管理面積	ha
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	ha	90.43	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12
	②	回	12	12	12	12	12	12
	③							
(6)の対象指標	①	箇所	70	76	76	76	76	76
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	件	100	120	120	120	130	130
	②	件	0	0	0	0	0	0
	③	件	450	266	400	400	400	400
(8)の結果の成果指標	①	ha	90.43	83.12	83.12	83.12	83.12	83.12
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	08	項	04	目	06

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	151,087	152,335	197,064	217,920	212,616	212,756
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	476	484	482	482	482	482
	一般財源	千円	150,611	151,851	196,582	217,438	212,134	212,274
人件費B		千円	25,445	21,112	21,112	21,112	21,112	21,112
	正職員従事時間×人数	時間×人	1,025 × 4	864 × 4	864 × 4	864 × 4	864 × 4	864 × 4
	正職員以外の人件費	千円	10,000	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300
その他費用C		千円	0	369	369	369	369	369
トータルコストA+B+C		千円	176,532	173,816	218,545	239,401	234,097	234,237
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ 箇所	2,522	2,287	2,876	3,150	3,080	3,082
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	530405	公園維持管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

昭和45年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

公園緑地施設の適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するために、本事業が始まった。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：少子高齢化による公園利用者の変化、及び公園に対する要望が多様化してきている。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	都市公園法	
			この事務を行う根拠又は理由	公園緑地施設において、適正な維持管理を行い、安全かつ快適な公園施設を提供するため。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	■できる □できない	理由又は内容	住民参加による管理により成果向上の余地はある。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	児童遊園等維持管理事業、農村公園維持管理事業	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	■ある □ない	内容	住民参加による公園管理を検討する。	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	↑ 増額	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						